



さわやか No. 10



幸手市立さくら小学校体育だより
令和2年10月20日号

秋気肌にしみる季節、皆様おかわりございませんでしょうか。今回のさわやかだよりでは、10月13日(火)に実施した「みんなでつくる運動会」の様子を紹介します。

『みんなでつくる運動会』

～はなれていても 心は密 一致団結 苦難に倍返しだ！～

スローガン 「はなれていても心は密、一致団結、苦難に倍返しだ！」

3年生以上の代表委員が各クラスで相談したキーワードを持ちより、話し合って決めました。



種目① 50m徒競走

運動会の醍醐味としての徒競走は、1学年ごとに校庭に出てセパレートコースで実施しました。5・6年生が実況係、決勝係、応援団などの今できる運動会の役割を担いました。



種目② フライシートリレー

密接回避や、楽しめる工夫について6年生全員で話し合い企画しました。1～6年生の縦割り小グループをつくり、全校児童の3分の1の人数で実施しました。



種目③ 一球入魂玉入れ

運動委員が本校の投力向上を意図して企画しました。密集を避けつつ、低学年でも玉入れを楽しめるようにルールや玉入れ台に工夫を凝らしました。



種目④ 幸手音頭

ダンスバトンクラブの児童が、とても上手なお手本でレクチャー動画を撮影し、全校児童が各教室で練習できるようにしました。当日は、初めて縦割りグループで校庭に集まり、幸手音頭に合わせて踊りました。



今年度新型コロナウイルスの影響で様々な学校行事が中止となり、運動会についても「密集、密接」の視点から例年通りの実施が困難な状況と判断しました。しかし、児童の楽しみにしていた運動会までもが中止になってしまうことで、多くの成長の機会が失われると考えるに至り、「児童の主体性」を尊重する形で運動会の実施をすることになりました。

今年が最後の運動会となる6年生が中心となり、「密集、密接」を避けつつ楽しめる運動会を一生懸命模索しました。今年だからこそできるさくらっ子オリジナルの運動会を、全校が一丸となって成功させることができました。保護者の皆様におかれましては、例年通りではない運動会にもご理解ご協力を頂きまして感謝申し上げます。